

京成本線荒川橋梁堤防部の水防対策に関する要望書

貴台におかれましては、日頃より荒川水系の総合的な治水・利水対策にご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

荒川は、政治・経済の中核機能が集中する首都圏を貫流する重要な河川であり、ひとたび氾濫すれば、我が国の社会経済活動に対しても計り知れない影響を与えます。

昨年の台風第19号において荒川の流域平均雨量は、カスリーン台風を上回る戦後1位を記録し、足立区及び葛飾区を含む江東五区においても多くの区民が避難しました。

これまで両区では、水防訓練等の機会をとおして、荒川橋梁周辺部の堤防の切り欠き部に暫定的な取り組みとして、土のうを設置するなど水防対策に取り組んでまいりました。しかし、現在、事業着手されている京成本線荒川橋梁架替事業が完了するまで長期間となることも想定されるので、土のうによる止水だけでは不安だとする地域住民の声もあり、さらなる取り組みが望まれています。

また、京成電鉄の軌道内の水防工法の実施にあたり、今回策定した京成本線荒川橋梁部における水防活動手順書では、京成電鉄運行停止後、2時間以内に対策を完了することを想定しており時間短縮に向けた取り組みが必要不可欠となっています。

両区といたしましては、係る事情をご賢察いただき、京成本線荒川橋梁付近の堤防の切り欠き部における対策及び、京成電鉄軌道内の水防活動の時間を短縮できる対策として、パラペット等の構造物を設置していただくとともに、さらなる区との連携や地域の水防活動の取り組みへの支援にも引き続きご協力いただきますよう強く要望いたします。

令和2年9月30日

国土交通省関東地方整備局

荒川下流河川事務所長 早川 潤 様

足立区長 近 藤 弥 生



葛飾区長 青 木 克 徳

